



©2005 石塚真一/小学館

第 331 号(令和6年(2024 年)2月 28 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ  
特別隊員

## 島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

### ～山岳遭難の現場から Mountain Rescue File No.2～

今回は、1月7日に中央アルプスの宝剣岳で発生した遭難を事例に、緊急時の対応や安全を優先した判断について考えていただきたいと思います。

[https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/mountain\\_rescuefile.html](https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/mountain_rescuefile.html) 長野県警察 山岳情報

<https://www.yamakei-online.com/yama-ya/detail.php?id=2998> 山と溪谷オンライン 編集・転載

<https://yamahack.com/6048> YAMA HACK 編集・転載

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>  
を確認し万全の準備で入山を！

### 長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

2月3週は、2件の山岳遭難が発生しました。

2件共バックカントリー中の遭難で、道迷いや積雪が多く滑走中に身動きが取れなくなり行動不能に陥るといった遭難でした。「バックカントリーエリアで道迷い？」と不思議に思う方も多いかと思いますが、スキー場管理区域外や沢筋など初めて滑走する場所では、「滑走後はどこに通じているか？」や「ハイクアップは必要なのか？」など事前にルートを確認する必要があります。「シュプールがあるから大丈夫だろう。」と思わず、しっかりとした計画や装備を準備して入山しましょう。

2月4週は、八ヶ岳連峰で2件、戸隠連峰で2件、バックカントリーエリアで1件の計5件の遭難が発生しました。

戸隠連峰で発生した遭難は、上級者向けの P1 尾根で発生し、2件とも鎖が設置された急な尾根を下山中に滑落しました。現場付近は、鎖が凍結し、稜線付近は岩と氷雪が混在したコンディションとなっていました。バリエーションルートでは、ほんのささいなミスが命取りとなりますので、アイゼンやピッケルを適切に使用し、危険箇所の通過にはロープを積極的に使用するなど、安全を第一に慎重な行動をお願いします。

バックカントリー遭難は、本年に入り既に15件の遭難が発生し、うち9件が道迷い遭難です。

バックカントリーエリアは雪の斜面を滑走するため、方向を見誤りやすく、尾根と沢の位置関係を把握していないと自分の現在地が分からなくなり、樹林帯や悪天候など見通しが利かない地形では、さらに迷い込んでしまいます。

滑走する前に、方向や全体の地形等を GPS や地図等で確認し、滑走中も自分の現在地をこまめに確認しましょう。

登山やバックカントリーは、自然を相手にするスポーツです。登山計画を立てる際には、行動ルートや天気予報の確認だけでなく、予定しているコースや山域にどのような危険があるのか、過去にどんな遭難が発生しているのか、といったところまで調べ、必要な装備を整えてから入山しましょう。アクシデントに備えて、非常食・飲料、ビバーク装備や防寒着も忘れずに携行してください。

発生状況:

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
2月16日	北アルプス 五竜岳	男	36	無事救出	道迷い	3人パーティでバックカントリーを滑走中、道に迷い、行動不能
		男	25	無事救出	道迷い	
		女	26	無事救出	道迷い	
2月17日	根子岳	女	49	無事救出	その他	3人パーティで根子岳に入山し、下山中に仲間とはぐれ、行動不能
2月23日	八ヶ岳連峰 硫黄岳	男	65	無事救出	道迷い	2人パーティで硫黄岳付近を登山中、同行者とはぐれ、道に迷い、行動不能
2月24日	八ヶ岳連峰 阿弥陀岳	男	58	負傷	転倒	3人パーティで御小屋尾根を下山中、スリップし、転倒、負傷
2月24日	戸隠連峰 西岳	男	41	対応中	滑落	4人パーティでP1尾根を下山中、滑落
2月24日	戸隠連峰 西岳	男	58	対応中	滑落	2人パーティでP1尾根を下山中、滑落
2月25日	北アルプス 唐松岳	男	33	無事救出	道迷い	3人パーティでバックカントリーを滑走中、同行者とはぐれ、道に迷い、行動不能

令和6年(2024年)中の山岳遭難発生状況(令和6年(2024年)1月1日～2月25日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和6年(2024年)	33	6	0	5	27	38	11
内)バックカントリー	15	2		1	17	20	3
内)単独登山	8	2			6	8	2
令和5年(2023年)	34	5	2	15	20	42	22
前年同期比	-1	+1	-2	-10	+7	-4	-11
内)バックカントリー	+3	-1	-2	-2	+8	+3	-5
内)単独登山	-5	+1	±0	-4	-2	-5	-3

■山域別発生状況(令和6年(2024年)1月1日～2月25日)

区分		件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	0	0.0%	0	0	0	0	0
	後立山	9	27.3%	2	0	1	10	13
	その他	1	3.0%	1	0	0	1	2
	計	10	30.3%	3	0	1	11	15
中央アルプス		1	3.0%	0	0	0	2	2
南アルプス		0	0.0%	0	0	0	0	0
八ヶ岳連峰		13	39.4%	3	0	4	6	13
その他の山岳		9	27.3%	0	0	0	8	8
計		33		6	0	5	27	38

■態様別発生状況(令和6年(2024年)1月1日～2月25日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	4	12.1%	0	0	2	0	2
転倒	3	9.1%	0	0	3	0	3
病気	1	3.0%	0	0	0	1	1
道迷い	13	39.4%	0	0	0	17	17
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	2	6.1%	2	0	0	1	3
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	5	15.2%	2	0	0	3	5
不明・他	5	15.2%	2	0	0	5	7
計	33		6	0	5	27	38

■男女別・年齢別比率(令和6年(2024年)1月1日～2月25日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	0	1	1	10 35.7%	0	0	0	1	1	3 30.0%	2	13 34.2%
20代	0	0	1	3	4		0	0	0	2	2		6	
30代	1	0	0	4	5		0	0	0	0	0		5	
40代	2	0	0	4	6	15 53.6%	0	0	0	2	2	7 70.0%	8	22 57.9%
50代	2	0	1	6	9		0	0	3	2	5		14	
60代	1	0	0	2	3	3 10.7%	0	0	0	0	0	0 0.0%	3	3 7.9%
70以上	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	
計	6	0	2	20	28		0	0	3	7	10		38	
比率	73.7%						26.3%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

\* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」[mt-tourism@pref.nagano.lg.jp](mailto:mt-tourism@pref.nagano.lg.jp)までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝